

博物館だより



写真「高峰^{じょうきち}讓吉夫妻と子どもたち」 明治23年(1890)頃

高峰讓吉博士顕彰会蔵(当館寄託)

明治23年(1890)頃の高峰讓吉一家。左より讓吉、長男^{じょうきち}襄吉、キャロライン夫人、二男^{たかし}エーベン孝。讓吉が起業のため同年の渡米直前に浅草公園の写真館にて撮影したもの。

高峰讓吉(1854~1922)は、高岡御馬出^{おんまだしまち}町の町医者・高峰家の長男として生まれた。暫くして金沢に移った讓吉は幼少の頃より長崎や大坂、七尾で英語や医学を学び、15歳頃には化学の道へ転向した。明治27年(1894)には消化酵素剤「タカジアスターゼ」を発明し、日本を含め世界中で発売された。同33年には世界初のホルモン物質で強い止血作用をもつ「アドレナリン」を発見し、今なお手術の現場など医療の最前線で使われており、後にノーベル賞級ともいわれた世紀の大発見となった。

また讓吉は日米親善にも尽くし、明治37年(1904)のセントルイス万博の日本館を移築して「松^{しょう}楓^{ふう}殿」と名付け、日米の政財界人らとの交流の場とした。このほか日本倶楽部・日本協会を設立し、ワシントンに桜を贈るなどの民間外交も展開し、「無冠の大使」と称されている。さらに讓吉は高岡(富山県)がアルミ産業の適地であると提言し、実際に黒部川^{くろべがわ}の電源開発に取り組んだ。現在高岡市は国内有数のアルミ工業地域となり、讓吉の優れた先見性は見事に実を結んだといえる。

多方面でその才能を発揮し、絶大な功績を残した讓吉は大正11年(1922)逝去し、ニューヨークの墓地に埋葬された(享年67)。御馬出町の生家跡には銅像が設置され、高峰公園として整備されている。

【2022年7月30日(土)~10月10日(日) 高岡市立博物館 特別展「没後100年記念 高峰讓吉記念展」を開催予定】



利長くん

令和3年度の高岡市立博物館

◆常設展「高岡ものがたり ー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」（通年開催）

本展では、高岡市の歴史・民俗・伝統産業等について、適宜展示を充実させながら分かりやすく紹介しています。7月には、小学生・家族連れの来館者向けワークシート「たかおかの歴史たんけんシート」を館内に設置し、多くの方にご利用いただきました。令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、8月18日(土)から9月12日(日)まで臨時休館となりましたが、市・県内外から多くの方々にご来館いただきました。

【お宝コーナー】

今年度、本展示コーナーでは4つのミニ展示を行いました。「旅する高岡」（会期：4/24～6/27）では、外出や旅行を控えたコロナ禍において少しでも旅行気分を味わえるような、観光案内や鉄道切符等の資料を展示・紹介しました。「彰義隊（隊長^{へいぎやうしやく}渋沢成一郎）副長天野八郎獄中記『斃休録』」（会期：7/3～9/5）では、彰義隊の副長で実質的リーダー・天野八郎（1831～68）が獄中で隊の顛末をまとめた手記『斃休録』を県内初展示し、「敗者」彰義隊からみた新たな歴史の一端を紹介しました。「室崎琴月生誕130年・童謡『夕日』誕生100年記念展」（会期：10/23～12/26）では、令和3年（2021）が本市出身の作曲家・音楽教育家の室崎琴月（1891～1977）の生誕130年及び琴月の代表曲・童謡『夕日』の作曲から100年を記念した特集展示を行い、琴月の生涯を紹介しました。現在開催中の「加賀藩農政の基本史料「村御印」」（会期：R4.1/22～3/21）では、近年相次いで当館に寄贈されている村御印（年貢徴収令状）を展示し、各村の草高（石高）、年貢率、小物成（米以外の収益に掛かる税）等から、当時の農政や各村の姿を紹介しています。



お宝コーナー「旅する高岡」（4/24～6/27）



お宝コーナー「加賀藩農政の基本史料「村御印」」（R4.1/22～3/21）

館蔵品展「昔の道具とくらし」（会期：4/1～7/11）では、当館が収蔵する衣・食・住などの古い生活道具類「民具」のほか、古い消火器や火消装束等の消防関係資料を含めた資料（計61件72点）を展示・紹介しました。特別展「生誕150年記念 筏井竹の門展」（会期：7/31～10/31）では、近代高岡文芸の盟主で俳人・俳画家の筏井竹の門（1871～1925）の書簡や写真、俳句、俳画などの資料（計109件202点）を展示・紹介しました。館蔵品展「仕切書にみる北前船交易～堀田家・八坂家文書から～」（会期：11/20～R4.1/10）では、本展初公開となる伏木の有力な廻船問屋・堀田家と八坂家両家の仕切書24点を含めた関連資料（計48件54点）を展示し、北前船交易の一端を紹介しました。現在は、館蔵品展「昔の道具とくらし」（R4.2/5～）を開催中です（「双六・見立番付」を特集展示。次年度7月10日まで開催予定）。

今年度の講座・イベントも昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、内容を一部変更して行いました。桜の開花時期に合わせた屋上開放「古城公園展望台」（4/2～4/4）及び当館茶室「松聲庵」で行う呈茶の会（4/10・11/6）では、開催時間の短縮や参加人数の縮小などを考慮し開催しました。このほか高岡に関わる話題について研究者よりお話いただく郷土学習講座（6/26、8/7）、当館職員による特別展講演会（10/2）、古文書講座「初めての古文書教室」（10～12月）等は、人数制限のほか日程の延期、中止などを行いながらの開催ではありましたが、多くの方にご参加いただきました。



呈茶の会（4/10）



郷土学習講座 第2講（荒木田 岳氏）（8/7）



館蔵品展「仕切書にみる北前船交易」（11/20～R4.1/10）

新収蔵資料紹介（令和4年1月31日現在）

・購入（61件200点。購入順。一括資料は仮に100点と計上）

No.	資料名称	点数	No.	資料名称	点数
1	年未詳5月2日付 前田利長・永姫侍女奉書（くすし三糸もん宛）	1	29～30	山口花笠編集発行、越友会発行『守水老遺稿』。高岡文化協会『花笠句抄』	2
2	年未詳7月1日付 前田利長書状（いちかわ・宮井宛）	1	31	山口花笠筆俳句短冊	1
3～4	山口花笠筆俳句、書簡	2	32～33	福井・金沢・高岡・富山四市観光連盟『旅は北陸へ』。朝日新聞社『アサヒグラフ』	2
5～10	高岡関係絵葉書（高岡桜馬場公園、義経雨晴など）	9	34	「家伝秘薬之巻」	1
11	中田駅仕法会所「二千貫文講富札」	1	35	高岡商工会議所『高岡産業案内』	1
12	高岡電灯株式会社案内など	2	36	引札「廻船問屋 伏木港松谷八十郎商店回漕部」	1
13	宣明『銘文言南者講説』・霊旺『一流安心御文講説』（合本／講録写本）	1	37	『高岡湯話』（写本／富田徳風著、大橋十右衛門旧蔵）	1
14	「高岡新聞／新年号附録」	1	38	「伏木河港平面図」	1
15	高岡劇場映画チラシ「KOGAKI NEWS」No.93	1	39	土山沢映和歌短冊	1
16	工部省布達第13号「石川県高岡町・射水郡新湊伏木村に電信分局設置」	1	40	臨濟宗大本山国泰寺『開山国師略伝』	1
17～18	真巖国常筆《五絶》。堀川敬周筆・劉 石秋賛《不動明王図》	2	41～49	高岡関係絵葉書（高岡市内、伏木港など）	13
19	『伏木町勢一斑』	1	50～51	筏井竹の門画賛《人參図》。筏井竹の門画《藤図》	2
20	慶長6年7月21日付 前田利長知行宛行状（中川三左衛門尉宛）	1	52	『株式会社高岡銀行株主名簿』	1
21	『バリ・イリュストレ』合本（第40～61号）	16	53	高岡銅器問屋・角羽家文書	(一括)
22～23	筏井竹の門画《小竹の山図》。筏井竹の門画賛《水仙図》	2	54	地券「砺波郡本領八百村」	8
24～25	東 東洋筆《樵図》。堀川敬周筆《絹本彩色山水図》	2	55～59	高岡関係絵葉書（瑞龍寺、高岡古城公園など）	15
26～27	真巖国常筆《五絶》。真巖国常筆《観音妙智力》	2	60	富山県立高岡中学校校友会会報『古城』第29号	1
28	加越能鉄道「高岡軌道線開通30周年記念乗車券」	1	61	「伏木港設置灯台建築費及び点灯費償却の為、入津料取立通達」	1

・寄贈（173件2,147点。受入順。一括資料は仮に100点と計上）

No.	資料名称	点数	寄贈者	No.	資料名称	点数	寄贈者
1	海軍軍衣飛行予科練習生用（冬衣）	1	松本徳次氏	85	仏教関係等書籍	(一括)	西光寺・寺野宗順氏
2～3	堀川敬周筆《貼り交ぜ屏風》。軍隊手帳	2	萩原辰義氏	86～90	列車時刻表。高岡市仲町自治会一覧表など	116	江畑幸英氏
4	銅製火鉢	1	早川久美子氏	91	吉久村 陸軍歩兵上等兵・小泉与次郎宛弔辞（明治37年8月21日、旅順監獄山にて戦死）	11	小泉昇仙氏
5～6	オオヒラ（大平）。ハナミベントウ（花見弁当）	2	曾田好隆氏	92	軍事郵便	(一括)	
7	砺波郡立野村・武中家文書	6	島 忠男氏	93	古銭	(一括)	
8～9	高岡漆器盆。伏木港平面図	8	杉山喜重子氏	94	菊に桐文鉄釜	1	谷道和子氏
10	高岡七本杉の火鉢	1	野尻嘉昭氏	95～102	「ありがと、加越能電車」記念乗車券。中村与三市教員辞令など	94	匿名希望
11～13	筏井竹の門筆短冊。堀川敬周筆《漁礁図屏風》など	6	小竹大地氏	103～105	北陸鉄道片山津線切符。第十三回国民体育大会（富山）入場券など	5	鳥 寿男氏
14	丹緑社展会場写真	1	匿名希望	106～107	五十嵐篤好著『地方新器測量法』（写本）。一如筆『御文』（版本）	2	米谷竹弘氏
15～24	逸見小舫（文綱）『小舫遺稿』。筏井竹の門筆『霊泉帖』など	14		108～137	和田新町 家屋敷売買証文綴（江戸期）。年賀状等書簡など	110	匿名希望
25	「週刊 市民新聞」（37号、2076号）	2	狩野 勉氏	138～146	富山県知事・町村金五筆 色紙「保険貯蓄報国」。高畑一男氏作漆器類	9	高畑一男氏
26	高岡市利屋町「天満宮雑費明細帳」	1	利屋町	147	高岡市源平町・本保吉次郎筆 御神輿図（下図）	1	小竹大地氏
27～40	「富山県射水郡より水見郷分割請願書」。絵葉書「グレート高岡」など	36	匿名希望	148	帳簿類（「高岡駄賃帳」「大福帳」「指引帳」「当座帳」等）	11	一ノ谷嘉行氏
41	ブリキ製米櫃	2	盛野弘進氏	149	筏井竹の門・沢田沢楼等 屏風、短冊、掛軸など	(一括)	澤田和夫・澤田俊子氏
42～44	写真「高岡博高敏甘納豆直売所（やまや製菓場）」。通い徳利など	6	山谷泰三氏	150～152	高田友吉作 焼印・鯛アルミ型・菓子金型	23	高田昇一氏
45	『躍進 富山県』（高岡新聞社発行／昭和13年）	1	池田節子氏	153	上川原町母衣祭礼用具	57	上川原町自治会
46～47	高岡市問屋町・一ノ瀬銅器下図帳。高岡銅器下図帳など	99	筏井逸紀氏	154	射水郡渚分・村本家文書	(一括)	村本民則氏
48～57	富山県関係絵葉書。射水神社感謝状など	304	加能幸夫氏	155～156	砺波郡中田町・土倉家絵図。「庄川改修費増額要請陳情書」	28	土倉一郎氏
58	筏井竹の門等短冊・色紙（筏井竹の門／小川千寛／本郷越嶺など）	18	匿名希望	157～158	『諸約変化術解』。『詩経』（上）	2	石田小一郎氏
59	「週刊 市民新聞」（2076号）	1		159	射水郡赤祖父村文書	500	下関村史料研究会 会長・中林徹雄氏
60～61	「大日本国防婦人会 高岡市下関校下分会」の旗など	2	宗玄俊一氏	160	射水郡京田村文書	6	京田自治会
62～77	『樹層』5月号。煙草盆。堀川敬周画《東帯天神座像》など	19	木村玉喜氏	161	高岡彫刻塗 鯛菓子器	1	野尻嘉昭氏
78	玩具類	100	匿名希望	162	（相撲絵）3代歌川豊国画《階ヶ嶽龍右衛門》	2	柳澤一夫氏
79～82	配置薬箱。「飛見式ガーゼ抑」など	9		163	射水郡赤埴（赤祖父）村村御印	1	赤祖父土地総代
83～84	教科書類（和本）。棹秤	13	石田繁喜氏	164～173	堀川敬周筆《絹本著色寿老人図》。真巖国常筆《七絶》など	12	匿名希望

※購入・寄贈資料の詳細は、『高岡市立博物館年報 第35号』を参照のこと。

資料ご寄贈のお願い

当館では、絵図・古文書や古写真などの「歴史資料」、古い生活道具や農具などの「民具」や銅漆器など高岡の伝統産業に関わる資料を収集しています。これらの資料は後世に歴史や生活文化等を伝える貴重な「文化遺産」です。お持ちの方はぜひご寄贈いただきたくお願い申し上げます（高岡関係の資料に限らせていただきます）。

高岡市立博物館 スケジュール(予定) 2022年4月～2023年3月

イベントスケジュール			
展 示		イベント・講座	
4月	4/1 常設展「西國の道(くわい) 楽しく知ろうーひらめきせよーミュージアム」1周年開催	4/9	「呈茶の会ー博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんかー」
5月			
6月		6/25	郷土学習講座「越中の嫁のれん(仮)」
7月		7/30	特別展「没後100年記念 高峰譲吉記念展」展示説明会①
8月		8/6	特別展講演会「高峰譲吉の偉業」
		8/27	特別展「没後100年記念 高峰譲吉記念展」展示説明会②
9月		9/15	古文書講座「初めての古文書教室」①
		9/24	特別展「没後100年記念 高峰譲吉記念展」展示説明会③
		9/29	古文書講座「初めての古文書教室」②
10月		10/13	古文書講座「初めての古文書教室」③
		10/27	古文書講座「初めての古文書教室」④
11月		11/5	「呈茶の会ー博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんかー」
		11/10	古文書講座「初めての古文書教室」⑤
		11/24	古文書講座「初めての古文書教室」⑥
12月		12/3	郷土学習講座「加賀藩十村の職務と格式(仮)」
1月			
2月		2/4	館蔵品展「昔の道具とくらし」展示説明会①
3月		3/11	館蔵品展「昔の道具とくらし」展示説明会②

※上記の他に親しむ会イベントも多数開催予定 (HP等を参照)

◆令和4年度 郷土学習講座 (全3回)

郷土高岡に関わるさまざまな話題について紹介いただく連続講座を開催します。

◇演題:「越中の嫁のれん(仮)」

講師: 嘉瀬井 恵子 氏 (富山大学 地域連携戦略室 特命助教)

日程: 6月25日(土) [申込開始:6月21日(火)午前9時より]

◇演題:「加賀藩十村の職務と格式(仮)」

講師: 上田 長生 氏 (金沢大学 人間社会学域 国際学類 准教授)

日程: 12月3日(土) [申込開始:11月29日(火)午前9時より]

◇演題:「京都の本草塾山本読書室と越中・高岡(仮)」

講師: 吉野 俊哉 氏 (富山県 [立山博物館] 学芸課 主任)

(日程未定)

いずれも、

・時 間: 午後2時～3時30分

・会 場: 当館新館3階講堂

・定 員: 30名 (先着順・要申込)

・受講料: 300円 (当館親しむ会会員は200円)

・申込方法: 電話・FAX・メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号・親しむ会入会の有無をお知らせのうえ、お申し込みください。

※講師の肩書は、令和4年2月現在のものです。

◆令和4年度 古文書講座「初めての古文書教室」(全6講)

古文書は貴重な歴史の証言者です。郷土の歴史を再発見してみませんか? 今年度も、古文書解説初心者の方を対象とした古文書教室を開催します。

・日 程

[第1講] 9月15日(木) [第4講] 10月27日(木)

[第2講] 9月29日(木) [第5講] 11月10日(木)

[第3講] 10月13日(木) [第6講] 11月24日(木)

・時 間: 午後2時～3時30分

・講 師: 当館・仁ヶ竹副主幹学芸員

・会 場: 当館新館3階講堂

・定 員: 30名 (先着順・要申込)

・受講料: 2,000円 (当館親しむ会会員は1,800円)

・申込受付: 8月16日(火)午前9時より開始 (定員に達し次第締切)

・申込方法: 電話・FAX・メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号・親しむ会入会の有無をお知らせのうえ、お申し込みください。



◆呈茶の会「松聲庵ー博物館で抹茶を楽しみませんかー」

柔らかな日差しが降り注ぐ森の中の古いお茶室で、本格的なお茶席をお楽しみいただけます。古城公園へのお散歩がてら、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

・日 時: 4月9日(土)、11月5日(土)

午前10時～午後3時

(受付は午後2時30分まで)

・場 所: 当館茶室「松聲庵」

・参加料: 500円 (お菓子付)

※茶券は当日受付にて販売



茶室「松聲庵」

※1日4,000円(税別)で利用可

※新型コロナウイルス感染症対策で、一席に茶室内へ入室できる人数を制限しているため、長時間お待ちいただく場合があります。

◆特別展「没後100年記念 高峰譲吉記念展」

令和4年(2022)は、高岡出身の世界的科学者・実業家で日米親善に尽くした高峰譲吉(1854～1922)の没後100年にあたります。本展では、高峰譲吉博士顕彰会蔵で当館に寄託されている高峰譲吉関係資料をはじめ、「松楓殿」に関わる調度品・工芸品などを展示し、「無冠の大使」・高峰譲吉の功績について紹介します。

・会 期: 7月30日(土)～10月10日(日)

・会 場: 当館新館企画展示室

・入館料: 無料

◇会期中のイベント

①講演会

・演 題「高峰譲吉の偉業」

・講 師: 当館・仁ヶ竹副主幹学芸員

・日 時: 8月6日(土) 午後2時～3時30分

・会 場: 当館新館3階講堂

・定 員: 30名 (先着順・要申込)

・受講料: 無料

・申込開始: 8月2日(火)午前9時より開始(定員に達し次第締切)

・申込方法: 電話・FAX・メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号をお知らせのうえ、お申し込みください。

②展示説明会 (全3回)

・日 時: 7月30日(土)、8月27日(土)、9月24日(土)各日午後2時～2時30分

・受講料: 無料



一開館時間一
午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)

一休館日一
毎週月曜日
(月曜日が祝・休日の場合は
その翌平日)

年末年始
(12月29日～1月3日)

一交 通一
高岡駅から徒歩約15分

一入館無料一